

- 記者発表資料 -

第11回 港湾空港技術講演会 in 横浜2018 を開催します

国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所の共催により「港湾空港技術講演会 in 横浜2018」を下記のとおり開催します。

本講演会は、港湾・空港分野に関する最新の研究・技術開発の取り組み状況をわかりやすくご紹介することを目的として開催しているもので、今回で11回目になります。

今回は、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所から「産業と国民生活を支えるストックの形成」をテーマに、コンテナターミナルの新技术導入効果やクルーズ船に関する動向分析、最新の海運貨物の動きなどについて講演します。

その他、首都大学東京の石倉智樹准教授が、「国際貿易と国際物流，港湾整備によるグローバルとローカルの効果」と題し特別講演を行います。

記

■日時:平成30年12月6日(木) 13:45~16:35 (受付開始13:15)

■会場:横浜情報文化センター 情文ホール

■内容・申込方法:別紙リーフレットのとおり

< 関東地方整備局HP : <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/> >

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 課長補佐

海洋環境・技術課 係長

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや

久保 哲也

すが たかし

菅 崇

電話 045-211-7420

FAX 045-211-0204

第11回 港湾空港技術講演会 in 横浜2018

参加
無料

○日時：平成30年12月6日(木) 13:45~16:35

○会場：横浜情報文化センター 情文ホール

○定員：180名

(先着順、定員に達し次第締切らせて頂きます。)

主催：国土交通省 国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
国土交通省 関東地方整備局



○講演内容

講演会テーマ『産業と国民生活を支えるストックの形成』

13:15~	受付開始		
13:45~	開会の挨拶	(国)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 所長 関東地方整備局 副局長	栗山 善昭 松永 康男
13:55~	『コンテナターミナルの新技术導入効果の評価の研究』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹	吉江 宗生
14:15~	『自動運航船の開発動向について』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 特別研究主幹	福戸 淳司
14:35~	『無人航空機の飛行が与える航空交通管理への課題』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 航空交通管理領域 主幹研究員	平林 博子
14:55~	『クルーズ船に関する動向分析』	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾計画研究室長	山本 康太
15:15~	休憩		
15:25~	『米トランプ政権の保護貿易政策による貿易戦争の 海運貨物量への影響試算』	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾システム研究室長	赤倉 康寛
15:45~	~特別講演~ 『国際貿易と国際交流 港湾整備によるグローバルと ローカルの効果』	首都大学東京 計画・交通研究室 准教授	石倉 智樹
16:30~	閉会の挨拶	国土技術政策総合研究所 副所長	鈴木 弘之

※ 内容は一部変更する場合があります。

◇お申し込み

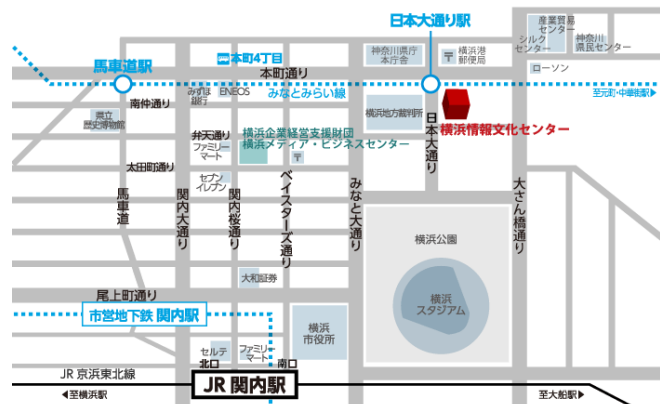
参加を希望される方は、件名を「港湾空港技術講演会 in横浜に参加希望」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (TEL) をご記入の上メールにてお申し込み下さい。

- ・申し込み締切：11月29日(木)
- ・申込先：pa.ktr-kouenoubo@ml.mlit.go.jp

◇お問い合わせ先

関東地方整備局 海洋環境・技術課 久保、菅
TEL 045-211-7420

※お申し込み時にいただいた個人情報、本講演会以外の目的で利用することはありません。



土木学会 CPDプログラム
認定番号 JSCE18-1262(2.7単位)